

算数オンライン塾 5月19日の問題 解説

(解説)

(1) 三角形 ARQ と三角形 QDS は合同な三角形で $AR=QS$ 、 $RQ=DS$ になります。
長いほうと短いほうの辺の和が 12cm、差が $10-6=4$ cm なので

$$(12-4) \div 2 = 4 \cdots QS \quad (\text{答え}) 4 \text{ cm}$$

(2)

1 辺 12 cm の正方形から 4 cm、8 cm の直角三角形 4 つ分の面積を引けば良いことになります。

$$12 \times 12 - 4 \times 8 \times \frac{1}{2} \times 4 = 144 - 64 = 80 \quad (\text{答え}) 80 \text{ cm}^2$$

(3)

右図より三角形 AOT の高さは 2cm になります。一方 TO は $8+12=20$ cm の $\frac{8}{20}$ になることから 5cm と求められます。

$$\text{したがって } 2 \times 5 \div 2 = 5$$

$$(\text{答}) 5 \text{ cm}^2$$

